

平成 30 年度畜産経営改善指導事業

平成 30 年度畜産経営指導実施結果

平成 31 年3月

公益社団法人 新潟県畜産協会

目 次

○ 実施状況の概要	1
○ 指導対象経営の概要	2
○ 畜種別指導実施結果の概要	3
○ 参考資料	10

1 実施状況の概要

「平成 30 年度畜産コンサルタント指導員名簿」（後掲）に記載した当協会職員 5 名と当協会が依頼した畜産関係団体職員等 13 名に加え、新潟県農林水産部経営普及課及び県試験研究機関に所属する職員で指導班を編成し、現地の県地域機関（地域振興局、家畜保健衛生所）職員の参画により調査・分析及び対策の検討を実施した。

○ 指導対象

主に就農して間もない後継者を対象に総合指導及びワンポイント指導を実施

ア 総合指導

各経営の課題（技術改善、衛生対策、財務改善等）ごとに、複数の畜産コンサルタント指導員がそれぞれの専門に応じて総合的な指導を実施

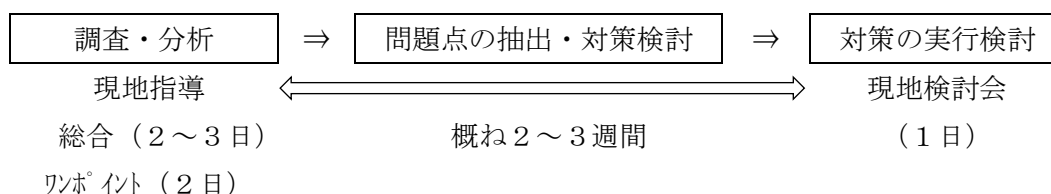
イ ワンポイント指導

経営の実態や課題に応じて、指導分野を限定して重点的に指導を実施

○ 指導方法

- ・ 総合指導は、経営全体を把握するための調査・分析に十分な時間（通常 3 日間）をかけ、概ね 2～3 週間後に経営者と共に実行可能な対策を決定
なお、平成 30 年度から、調査・分析を 2 日間に短縮して指導の効率化を図ることを目的として、飼養状況表の作成及びデータの入力作業が自身で可能な経営者を対象に「スピードコンサル」を実施（事前の資料作成・一部データ入力を経営者本人が担当 ⇒ 現地指導日約 2 週間前までに協会職員による事前チェック ⇒ 現地指導）
- ・ ワンポイント指導は、特定課題を把握するための調査・分析を通常 2 日間で実施し、概ね 2～3 週間後に経営者と共に実行可能な対策を決定
なお、平成 30 年度から、ワンポイント指導に限り、経営者自らが診断できるようなデータ入力方法等を指導する「自己診断指導」を実施

【実施手順】



○ 指導実施戸数

(単位:戸)

区 分		酪 農	肉用牛	養 豚	合 計
総合指導	通常指導	7	4	1	12
	スピートコンサル	-	1	5	6
ワンポイント指導	通常指導	4	1	-	5
	自己診断指導	-	2	-	2
合 計		11	8	6	25

2 指導対象経営の概要

(1) 経営形態

平成 30 年度に指導を実施した 25 戸の後継者就農、飼料用米利用、自給粗飼料生産の状況は下表のとおりであった。

各畜種とも後継者就農の割合が高い傾向にあり、飼料用米利用は 24%であった。

自給粗飼料生産(稲わら含む)は、肉用牛は繁殖経営・肥育経営ともに全戸が取り組み、酪農経営では 6 割を超える 7 戸が取り組んでいた。

なお、主要な診断実績数値を新潟県畜産経営指導指標値(平成 26 年度改訂)と対比して「参考資料」として 10 ページ以降に掲載した。

○ 指導対象経営の経営形態

(戸、%)

区 分	酪農経営	肉用牛経営		養豚経営	合 計
		繁殖経営	肥育経営		
指 導 実 施 戸 数	11	4	4	6	25
後 継 者 就 農 戸 数	7	2	3	6	18 (72.0)
飼 料 用 米 利 用 戸 数	3	0	1	2	6 (24.0)
自 給 粗 飼 料 生 産 戸 数	7	4	4		15 (78.9)

(注) 自給粗飼料生産戸数の合計は酪農経営、肉用牛経営戸数に対する比率で示した。

(2) 飼養規模

- 酪農経営(総合指導 7 戸、ワンポイント指導 4 戸)は経産牛規模が 10.6~40.0 頭の範囲にあり、県平均(26.9 頭)以上の経営は 8 戸であった。
- 肉用牛繁殖経営(総合指導 1 戸、ワンポイント指導 3 戸)は繁殖牛規模が 12.0~36.4 頭であり、県平均(15.5 頭)以上の経営が 2 戸であった。
- 肉用牛肥育経営(総合指導 4 戸)は肥育牛規模が 39.5~112.6 頭であり、県平均(28.7 頭)を上回っていた。
- 養豚経営(総合指導 6 戸)は種雌豚規模が 44.2~170.0 頭の範囲にあり、県平均(132.6 頭)以上の経営が 2 戸であった。

3 畜種別指導実施結果の概要

平成 30 年度は、前年度に引き続き乳価及び牛枝肉価格が比較的堅調に推移していたが、豚枝肉についてはほとんどの月で前年同月を下回る価格となったことから、養豚経営にあっては所得が低下傾向にあった。

調査・分析の結果に基づき問題点を整理すると、技術レベルに課題がある経営が多いことから、各事例の技術、経営レベルを判断するために新潟県畜産経営指導指標と比較した。

各指標値の達成度は以下のとおりであり、今後、改善が必要な課題項目を明確化した。

(1) 酪農経営（総合指導 7 戸、ワンポイント指導 4 戸）

指標項目	単位	指標値	達成事例割合 (%)	指標値を基準とした達成度分布 (●: 1 事例)					
				~80%	80~90%	90~100%	100~110%	110%~	
技術管理	経産牛平均種付回数	回	2.0 以下	0	●●●●● ●●●●●	●●	●		
	経産牛平均分娩間隔	ヶ月	14.0 以下	0	●●●●	●●●●	●●●●●● ●		
	経産牛平均産歴	回	3.5 以上	0	●●●●● ●●●●	●●●●	●		
	経産牛 1 頭当り産乳量	kg	9,500 以上	27.3	●	●●●●●	●●●●	●●●●	
	体細胞数	千個	160 以下	27.3	●●●●● ●●●●	●		●	●●
	乳飼比	%	50 以下	45.5	●●●●	●●	●		●●●●● ●
経営管理	所得率	%	15 以上	57.1	●	●●		●	●●●●
	経産牛 1 頭当り飼養管理時間	時間	120 以下	0	●●●●● ●●	●			

(注) 経営管理指標は総合診断を実施した 7 事例を記載した。

課題項目	指標値	指標値達成戸数	課題と対策
経産牛平均種付回数	2.0 回以内	0	分娩後の初回授精による受胎率が 20%程度と低迷し、2 回目以降の受胎率が低いことが原因である。発情発見率の向上による適期授精と無発情牛の早期治療が重要である。
経産牛平均分娩間隔	14 ヶ月以内	0	分娩後の初回種付 90 日以上の経営が 1/2 を占め、さらに発情発見率も 50%程度と低迷していることが、分娩間隔長期化の原因である。 分娩後 70 日以内での適期授精、妊娠鑑定の確実な実行、繁殖障害牛に対する早期治療が重要である。

課題項目	指標値	指標値 達成戸数	課題と対策
経産牛平均産歴	3.5産以上	0	<p>経産牛処分頭数の6割は周産期疾病等による死廃、4割は不受胎等による販売であり、経産牛処分率が20%以上の経営が70%と多く産歴が向上しない原因となっている。</p> <p>安定した生乳生産を行うため、疾病防除対策の強化、受胎率の向上を図ることが重要である。</p>
経産牛1頭当り産乳量	9,500 kg以上	3戸	<p>後継牛である未經産牛購入価格の高騰により資金不足が生じ、経産牛の更新が計画どおり進まないことが乳量低迷の主な原因である。自家産後継牛の計画的な保留、公共育成牧場等を活用した良好な育成を実践し、経産牛平均産歴3.5産以上の牛群を整備し、分娩間隔の短縮、乳房炎の発生防止等日常管理の強化が重要である。</p>
体細胞数	160千個以下	3戸	<p>乳房炎の発生が原因であるので、日常搾乳時のプレ、ポストディッピング等搾乳衛生対策の実行、乳房炎牛に対する有効薬剤による搾乳時、乾乳時の治療、分房毎の定期的な乳房炎検査の継続が重要である。</p>
乳飼比	50%以下	5戸	<p>自給飼料を生産していない又は収量が低い経営や、経産牛1頭当り産乳量が7,000kg台と低い経営では乳飼比が高く、指標値を達成できた経営は4割にとどまった。さらに、給与飼料の養分充足率が高く、飼料の無駄が見られる経営があるので、個別別の適正給与の徹底が必要である。</p>
所得率	15%以上	4戸	<p>過半数の経営で指標値を達成できたが、所得を確保できた要因は販売乳価の安定に加えて、初生子牛価格の高騰により副産物収入が増加したことが大きかった。所得率の低い事例は体細胞数の増加および分娩間隔の伸長によって経産牛1頭当り産乳量が低く生乳販売収入が少なかったことが原因であり、乳房炎対策と繁殖管理の徹底が重要である。</p>

課題項目	指標値	指標値達成戸数	課題と対策
経産牛1頭当り飼養管理時間	120時間以下	0	後継者が就農し、労働力が増加したが、飼養規模を拡大できないことが大きな原因。1頭当り飼養管理時間が長く労働1時間当りの所得が324円という経営もあったことから、飼養管理の強化により、労働時間に見合う所得を確保することが必要である。

(2) 肉用牛繁殖経営（総合指導1戸、ワンポイント指導3戸）

指標項目	単位	指標値	達成事例割合 (%)	指標値を基準とした達成度分布 (●: 1事例)					
				~80%	80~90%	90~100%	100~110%	110%~	
技術管理	平均産歴	産	7.0以上	0	●●	●	●		
	平均分娩間隔	ヶ月	12.0以下	50			●●	●●	
	受胎に要する種付回数	回	1.5以下	50			●●	●●	
	雌子牛販売時体重	kg	260以上	25		●	●●		●
	雄子牛販売時体重	kg	295以上	0		●	●●●		
	子牛事故率	%	3.0以下	50	●		●		●●

課題項目	指標値	指標値達成戸数	課題と対策
平均産歴	7.0産以上	0	指標値を達成した事例はなかった。繁殖牛の長期連産を図るため、飼養管理の改善等、繁殖技術レベルを高める必要がある。
雌子牛販売時体重	260 kg以上	1戸	雌子牛では1戸のみ指標値を達成したものの、雄子牛では達成した経営はなかった。
雄子牛販売時体重	295 kg以上	0	子牛が十分に飼料や水を摂取できる環境作りや飼料給与体系の見直しのほか、分娩前後の繁殖牛の増飼い等の飼養管理の見直しが必要である。

課題項目	指標値	指標値達成戸数	課題と対策
子牛事故率	3.0%以下	2戸	0%の事例もあれば10.0%の事例もあり、経営間で差があった。観察を強化して異常の早期発見・対処に努めるとともに、冬期の保温対策の徹底や良質な粗飼料の給与等、飼養管理を改善する必要がある。

(3) 肉用牛肥育経営（総合指導4戸）

指標項目		単位	指標値	達成事例割合 (%)	指標値を基準とした達成度分布 (●: 1事例)				
					~80%	80~90%	90~100%	100~110%	110%~
技術管理	出荷月齢	ヶ月	28.0以内	0			●●●●		
	枝肉重量	kg	490以上	100				●●●●	
	1日当たり増体重	kg	0.85以上	25		●	●●	●	
	枝肉格付4等級以上率	%	80.0以上	100				●●	●●
	事故率	%	2.0以下	50	●●				●●
経営管理	所得率	%	6.0以上	50	●●				●●

課題項目	指標値	指標値達成戸数	課題と対策
出荷月齢	28ヶ月以内	0	指標値を達成した事例はなかった。コスト低減を図るためにも、育成期の腹作りや肥育前期における飼料増給、衛生管理の徹底等により、増体量の向上を図り、出荷月齢を早める必要がある。
1日当たり増体量	0.85kg以上	1戸	上記と同様、育成期・肥育前期の飼養管理の改善や衛生管理の徹底、日常観察の強化等による増体量の確保が必要である。

課題項目	指標値	指標値 達成戸数	課題と対策
事故率	2.0%以下	2戸	<p>日常観察の徹底による異常の早期発見及び対策の早期実行とともに、ワクチン接種の実施、導入牛の隔離や踏込消毒槽の設置等による農場内への病原体の侵入防止が必要である。</p> <p>また、寒い時期や導入直後の牛で疾病の発生が目立つため、この時期の観察を特に注意するとともに、防寒対策の実施等が必要である。</p>
所得率	6.0%以上	2戸	<p>素牛価格が最も高騰していた時期に購入した牛の出荷が多く、2戸は指標値を達成したものの、他の2戸はマイナスであり、経営間で差があった。</p> <p>現在も素牛価格の高値は続いているため、前述の対策の実施により、肥育の長期化防止や増体重の向上に努めてコスト低減・販売収入の増加を図るとともに、収支に見合うよう計画的に導入・出荷を実施することが必要である。</p>

(4) 養豚経営 (総合指導 6 戸)

指標項目	単位	指標値	達成事例割合 (%)	指標値を基準とした達成度分布 (●: 1 事例)					
				~80%	80~90%	90~100%	100~110%	110%~	
技術管理	1 腹 当 り 分 娩 頭 数	頭	12.0 以上	66.7			●●	●●●	●
	1 腹 当 り 離 乳 頭 数	頭	9.9 以上	50.0			●●●	●●●	
	離 乳 時 育 成 率	%	90 以上	50.0			●●●	●●●	
	離 乳 ~ 受 胎 平 均 日 数	日	12 以内	0	●●●●		●●		
	分 娩 間 隔	日	150 以内	33.3		●	●●●	●●	
	年 間 換 算 離 乳 子 豚 頭 数	頭	24 以上	50.0		●●	●	●●●	
	肉 豚 期 間 平 均 事 故 率	%	5 以下	33.3	●●●●			●	●
	種 雌 豚 1 頭 当 り 肉 豚 出 荷 頭 数	頭	22.8 以上	33.3	●●		●●	●●	
経営管理	自 己 資 本 比 率	%	50 以上	50.0	●●●				●●●
	所 得 率	%	10 以上	66.7	●		●	●	●●●

課題項目	指標値	指標値達成戸数	課題と対策
離 乳 から 受 胎 平 均 日 数	12 日 以 内	0	<p>最も改善の遅れている技術項目のひとつであり、指標値を達成した事例はなかった。</p> <p>離乳後の発情再起の遅れが主要因であり、授乳期の母豚が栄養不足にならないよう管理する必要がある。</p> <p>特に長期化が目立つ事例では、母豚の管理観察強化、母豚更新時期の判断など基本的事項の徹底を図る必要がある。</p>
分 娩 間 隔	150 日 以 内	2 戸	<p>上記の離乳から受胎平均日数を短縮することに加え、授乳子豚の栄養管理・飼養管理を適切に実施して健康的に仕上げ、平均哺乳日数の短縮を図る。</p>

課 題 項 目	指標値	指 標 値 達成戸数	課題と対策
肉 豚 期 間 平 均 事 故 率	5%以下	2戸	<p>指標値を達成した事例は2戸のみであった。</p> <p>事故率が高い事例では、疾病の原因特定と治療のほか、豚舎の換気や水洗・消毒、衛生プログラムの遵守などの対策強化が必要である。</p> <p>また、離乳時の発育遅れが多発していたため、授乳中の管理から見直すことも重要となる。</p>
種 雌 豚 1 頭 当 り 肉 豚 出 荷 頭 数	22.8 頭 以上	2戸	<p>指標値を達成した事例は2戸のみであった。</p> <p>子豚保温対策、肉豚の衛生対策の徹底により事故率の低減を図り、肉豚出荷頭数を増加させる必要がある。</p> <p>また、種雌豚の資質低下による分娩頭数の減少、分娩子豚の体重のバラツキなども散見されたことから、農場独自の淘汰基準を設定することも重要である。</p>
所 得 率	10%以上	4戸	<p>4戸が指標値を達成していたが、平成29年度からの継続指導事例を見ると、枝肉価格の下落等により、前年比で大幅に所得が減少していた。</p> <p>また、所得が少ない事例では、受胎日数の長期化による母豚回転の低迷、高い肉豚事故率などによる出荷頭数の減少などが見られることから、繁殖成績を基本として一連の飼養レベルを向上する必要がある。</p>

参 考 资 料

酪農経営 1

区 分				指標値	最大値	最小値	経 営 体 番 号							
							1	2	3	4	5	6	7	
診 断 期 間							30.1.1~ 12.31	29.8.1~ 30.7.31	29.8.1~ 30.7.31	29.10.1~ 30.9.30	29.9.1~ 30.8.31	30.1.1~ 12.31	30.1.1~ 12.31	
技 術 管 理 成 績	規 模	飼 料 畑	a		1,690	0	688	693	820	1,690	0	650	877	
		經 産 牛 頭			39.5	10.6	39.5	31.0	28.5	27.1	23.8	21.5	10.6	
	乳 牛	經 産 牛 平 均 産 歴	産		3.5以上	3.0	2.2	2.5	2.9	2.6	2.5	2.2	3.0	2.3
		經 産 牛 平 均 分 娩 間 隔	月		14.0以内	18.5	14.4	15.9	14.9	18.5	14.9	16.9	17.7	14.4
		經 産 牛 平 均 種 付 回 数	回		2.0以内	4.0	2.2	3.7	2.2	3.0	4.0	2.8	3.9	2.4
		經 産 牛 処 分 率	%			43.0	12.6	43.0	19.4	24.6	22.1	12.6	27.9	37.7
	生 乳	搾 乳 牛 1 頭 当 り 産 乳 量	kg			11,465	8,029	10,200	11,465	8,029	10,641	8,563	9,758	8,363
		經 産 牛 1 頭 当 り 産 乳 量	kg		9,500以上	10,231	7,181	9,475	10,231	7,181	9,627	7,863	8,800	7,727
		濃 厚 飼 料 1kg 当 り 産 乳 量	kg			3.09	1.63	2.26	1.63	2.22	2.71	2.33	2.31	3.09
		脂 肪 率	%		3.8以上	4.02	3.75	4.02	3.75	3.96	3.95	3.88	3.91	3.97
		無 脂 固 形 分 率	%		8.8以上	8.91	8.73	8.80	8.73	8.76	8.91	8.83	8.87	8.81
		体 細 胞 数	千個		160以下	425	107	178	232	425	148	245	390	107
	飼 料 給 与	經 産 牛 1 頭 当 り 濃 厚 飼 料 給 与 量	kg		3,600	6,289	2,619	4,186	6,289	3,241	3,552	3,379	3,807	2,619
		經 産 牛 1 頭 当 り 粗 飼 料 給 与 量	kg		5,220	6,016	2,531	5,801	2,531	4,657	5,761	6,016	5,035	5,271
		給 与 充 足 率	C P %			124.9	103.6	113.6	123.6	103.6	110.6	124.9	120.5	113.6
		給 与 充 足 率	T D N %			120.8	102.0	117.7	106.8	108.6	102.0	120.8	108.8	104.5
		体 重 に 対 す る 給 与 割 合	全 給 与 %			4.3	3.4	4.3	3.8	3.4	4.0	4.1	3.9	3.5
		粗 飼 料 %			2.6	1.1	2.5	1.1	2.0	2.5	2.6	2.2	2.3	

酪農経営2

区 分			指標値	最大値	最小値	経 営 体 番 号							
						1	2	3	4	5	6	7	
技 術 管 理 成 績	飼 料	経産牛1頭当り作付実面積	a	96.4	0.0	17.4	22.4	28.8	62.4	0.0	30.2	96.4	
		T D N 自給率	%	38.0	0.0	23.3	6.5	3.9	25.7	0.0	1.1	38.0	
	生 産	10 a 当り収量	青刈作物	kg	2,868	516	-	-	-	2,868	-	897	516
			永年牧草	kg	5,000以上	3,210	793	-	3,210	793	1,927	-	-
		1kg当り生産費											
			生 草	円	110.34	25.63	-	-	-	-	-	25.63	110.34
			埋 草	円	112.92	8.04	-	20.52	8.04	24.24	-	35.69	112.92
			乾 草	円	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	労 働 績	経産牛1頭当り飼養管理時間	時間	120.0	454.5	145.3	220.4	408.3	145.3	186.0	230.0	190.7	454.5
		10 a 当り飼料栽培時間	時間	8.0	6.4	1.0	-	6.4	1.0	2.0	-	3.2	4.3
経 原 価	生 産 原 価	生乳1kg当り販売単価	円	132.88	130.28	130.97	130.28	130.76	131.01	130.73	130.85	132.88	
		生乳1kg当り											
		生産原価	円	225.82	109.88	109.88	145.67	131.36	111.07	143.48	124.27	225.82	
		総原価	円	206.03	123.27	127.47	169.19	148.06	123.27	158.65	138.83	206.03	
生 産 原 価	生乳1kg当り	生産原価	円	129.73	75.01	75.01	84.57	100.02	89.56	98.12	91.76	129.73	
		自家労賃控除後	円	116.72	92.59	92.59	108.09	116.72	101.75	113.29	106.32	109.94	
営 管 理 成 績	所 得	経産牛1頭当り所得	円	360,882	100,851	360,882	227,285	100,851	281,501	137,379	227,669	161,640	
		1日当り所得	円	39,054	4,681	39,054	19,304	7,875	20,900	8,958	13,411	4,681	
		労働1時間当り所得	円	2,040	326	1,638	545	672	2,040	577	1,135	326	
		経産牛1頭当り所得 (子牛販売収入控除)	円	200,855	▲ 17,707	200,855	96,461	▲ 6,430	185,363	23,339	87,800	▲ 17,707	
		所得率	%	15以上	25.5	9.6	25.5	15.5	9.6	20.8	12.0	17.6	13.4
安 全 性	全 績	乳 飼 比	%	50以下	76.0	37.3	41.0	43.6	65.5	37.3	76.0	52.6	40.9
		うち経産牛当りの乳飼比	%	45以下	61.1	25.9	33.5	41.1	58.5	34.4	61.1	49.2	25.9
		自給飼料費加算乳飼比	%		68.6	45.0	50.7	45.0	67.3	48.1	61.1	53.6	68.6
		支払利息対売上高比率	%	2以下	1.0	0.0	0.7	0.1	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
		減価償却費対売上高比率	%	15以下	19.1	7.4	7.4	10.6	11.4	12.7	9.4	12.8	19.1
		自己資本比率	%	50以上	94.4	2.3	40.4	75.4	88.2	92.7	83.4	2.3	94.4
		流動比率	%	200以上	1,496.3	77.9	425.0	131.1	499.0	1496.3	842.4	77.9	726.0
		経産牛1頭当り固定資産額	千円		711	209	209	433	391	494	280	375	711
経産牛1頭当り負債額	千円		744	67	495	334	80	78	135	744	67		

肉用牛繁殖経営 1

区 分				指標値	最大値	最小値	経営体番号				
							1	2	3	4	
診 断 期 間							29.6.1～ 30.5.31	29.11.1～ 30.10.31	29.10.1～ 30.9.30	29.6.1～ 30.5.31	
規 模	繁殖牛飼養規模			頭		36.4	12.0	36.4	32.2	15.0	12.0
	繁殖牛1頭当り飼料畑面積			a		50.5	15.1	44.6	50.5	15.1	50.0
技 術	平均産歴(供用産歴)			産	7.0以上	6.4	2.4	6.1	6.4	2.6	2.4
	平均分娩間隔			月	12.0以下	12.9	11.3	11.9	12.9	11.3	12.5
	受胎に要する種付回数			回	1.5以下	1.6	1.5	1.5	1.6	1.6	1.5
	ET含年間子牛生産頭数			頭		31	7	31	30	16	7
管 理	ET含年間子牛販売頭数			頭		19	4	19	17	8	4
	子 牛	販売時日齢		日		308	220	250	308	220	239
		販売時体重		kg	260以上	291	232	246	291	241	232
日齢体重		kg		1.09	0.95	0.98	0.95	1.09	0.97		
成 績	子 牛	販売時日齢		日		272	186	260	267	186	272
		販売時体重		kg	295以上	294	239	294	287	239	275
		日齢体重		kg		1.28	1.01	1.13	1.08	1.28	1.01
子牛事故率			%	3.0以下	10.0	0.0	3.1	10.0	0	0	
販 売	雌子牛販売価格			円		677,623	549,720	586,440	549,720	677,623	561,600
	雄子牛販売価格			円		910,440	678,600	826,264	702,926	910,440	678,600
	平均			円		801,019	649,350	801,019	675,889	706,725	649,350

肉用牛繁殖経営2

区 分		指標値	最大値	最小値	経営体番号					
					1	2	3	4		
技 術 管 理 成 績	飼 料 給 与	繁殖牛1頭当り	1日当り濃厚飼料	kg	2.1	1.0	1.4	2.1	1.1	1.0
			1日当り粗飼料	kg	10.8	5.1	5.1	6.2	10.8	6.3
			計	kg	11.9	6.5	6.5	8.3	11.9	7.3
		飼料費	1日当り	円	604	231	258	371	604	231
			年間	円	220,460	84,315	94,170	135,415	220,460	84,315
	子牛1頭当り	1日当り濃厚飼料	kg	3.2	2.3	3.2	2.6	2.3	2.3	
			粗飼料	kg	2.0	0.9	0.9	1.0	2.0	1.7
			計	kg	4.3	3.6	4.1	3.6	4.3	4.0
		飼料費	1日当り	円	370	228	288	308	370	228
年間	円		101,232	62,381	78,797	84,269	101,232	62,381		
粗飼料自給率		%	89.5	37.4	77.6	85.8	37.4	89.5		

肉用牛肥育経営 1

区 分			指標値	最大値	最小値	経営体番号					
						1	2	3	4		
診 断 期 間						30.1.1~ 12.31	30.1.1~ 12.31	30.1.1~ 12.31	29.11.1~ 30.10.31		
技 術 管 理 成 績	規 模	肥 育 牛 飼 養 規 模	頭		112.6	39.5	112.6	105.8	68.9	39.5	
		肥 育 牛 1 頭 当 り 労 働 時 間	時間		83.3	19.3	19.3	52.0	38.9	83.3	
	育 技 術 成 績	去 勢 牛 (か っ こ 内 は 雌 の 成 績)	期 間 販 売 頭 数	頭		61	17	61	57	38	17
			出 荷 頭 数	頭		61	15	61	54(3)	38	15(2)
			出 荷 月 齢	月	28.0以内	30.7	29.2	29.2	30.2(29.7)	30.7	29.8(30.1)
			肥 育 日 数	日	570以内	763	641	763	654(587)	641	654(610)
			出 荷 体 重	kg	780以上	841	775	841	809(666)	775	817(729)
			枝 肉 重 量	kg	490以上	529	491	529	512(422)	491	515(460)
			1 日 当 り 増 体 重	kg	0.85以上	0.90	0.73	0.90	0.78(0.69)	0.73	0.82(0.77)
	事 故 率	%	2.0以下	4.7	0.0	4.7	1.7	2.6	0.0		
	販 売	販 売 牛 1 頭 当 り 価 格	円		1,420,383	1,360,614	1,404,704	1,360,614	1,390,502	1,420,383	
		枝 肉 1 kg 当 り 価 格	円		2,833	2,657	2,657	2,680	2,833	2,797	
	飼 料 給 与	肥 育 牛 1 頭 1 日 当 り 給 与 量	濃 厚 飼 料	kg	7.7	7.7	6.8	7.5	6.8	7.7	7.2
粗 飼 料			kg	2.3	2.5	2.0	2.5	2.4	2.1	2.0	
計			kg	10.0	10.0	9.2	10.0	9.2	9.8	9.2	
飼 料 要 求 量		kg	11.8	13.4	11.1	11.1	11.9	13.4	11.3		
飼 料 費	1 日 当 り	円		568	399	487	399	567	568		
	増 体 1 kg 当 り	円		777	518	541	518	777	698		

肉用牛肥育経営2

区 分			指標値	最大値	最小値	経営体番号				
						1	2	3	4	
経 営	原 価	販売牛1頭当り素畜費	円	902,658	623,919	623,919	875,402	902,658	789,683	
		販売牛1頭当り生産原価	円	1,466,684	1,064,128	1,175,578	1,303,062	1,466,684	1,064,128	
		自家労賃控除後総原価	円	1,512,180	1,122,021	1,122,021	1,248,373	1,512,180	1,192,598	
	管 理	所 得	販売牛枝肉1kg当り素畜費	円	1,839	1,180	1,180	1,724	1,839	1,645
			販売牛1kg当り生産原価	円	3,863	2,114	2,114	2,566	2,988	3,863
			自家労賃控除後総原価	円	4,130	2,013	2,013	2,459	3,081	4,130
成 績	安 全 性	出荷牛1頭当り所得	円	350,558	▲ 304,474	350,558	112,241	▲ 17,033	▲ 304,474	
		肥育牛1頭当り所得	円	184,494	▲ 138,748	184,494	60,470	▲ 9,394	▲ 138,748	
		肥育牛1頭当り 補てん金受領額	円	5,546	2,332	4,791	2,814	5,546	2,332	
		肥育牛1頭当り 補てん金控除所得	円	179,703	▲ 141,080	179,703	57,656	▲ 14,940	▲ 141,080	
		所得率	%	6.0以上	24.2	▲ 22.7	24.2	8.2	▲ 1.2	▲ 22.7
成 績	安 全 性	支払利息対売上高比率	%	2.0以下	1.6	0.0	0.4	0.1	1.6	0.0
		減価償却費対売上高比率	%	5.0以下	5.8	1.0	1.0	5.7	1.3	5.8
		自己資本比率	%	50.0以上	99.1	49.1	52.0	64.5	49.1	99.1
		流動比率	%	200.0以上	9,383.3	327.5	1,955.1	8,068.0	327.5	9,383.3
		肥育牛1頭当り資産額	千円		1,211	1,001	1,001	1,211	1,056	1,180
	肥育牛1頭当り負債額	千円		537	11	480	429	537	11	

養豚経営 1

区 分		指標値	最大値	最小値	1	2	3	4	5	6			
					30.1.1 ~12.31	29.8.1 ~30.7.31	30.1.1 ~12.31	29.11.1 ~30.10.31	29.11.1 ~30.10.31	30.1.1 ~12.31			
診 断 期 間													
規 模	規 模	種 雌 豚 頭	170.0	44.2	170.0	152.9	103.0	101.8	68.0	44.2			
	規 模	種 雄 豚 頭	22.0	2.9	3.2	22.0	6.7	9.1	7.6	2.9			
技 術 管 理 成 績	繁 殖	種 雄 豚 1 頭 当 り 種 雌 豚 頭 数	頭	53.1	7.0	53.1	7.0	15.4	11.2	8.9	15.2		
		種 雌 豚 更 新 率	%	56.3	30.4	51.2	55.0	56.3	30.4	41.2	36.2		
		種 雌 豚 平 均 産 歴	産	4.3	3.4	3.6	3.9	3.4	4.3	3.8	3.7		
	分 娩	分	1 腹 当 り 分 娩 頭 数	頭	12.0以上	14.3	10.9	12.3	11.9	10.9	14.3	12.8	12.6
			" 死 産 頭 数	頭		1.9	0.5	0.9	1	0.5	1.9	1.9	1.2
			" 哺 乳 開 始 頭 数	頭		12.4	10.4	11.4	10.9	10.4	12.4	10.9	11.4
			流 産 ・ 早 産 等 発 生 率	%		1.70	0.00	0.48	1.70	1.24	0.83	0.00	0.00
	離 乳	離	1 腹 当 り 離 乳 頭 数	頭	9.9以上	10.6	9.4	10.4	9.5	9.5	10.6	9.4	10.6
			平 均 哺 乳 日 数	日	24	29.3	20.5	21.7	23.6	24.7	23.6	20.5	29.3
			子 豚 1 頭 当 り 離 乳 時 体 重	kg	6以上	7.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	5.0	7.0
			離 乳 時 育 成 率	%	90以上	93.0	85.5	91.2	87.2	91.3	85.5	86.2	93.0
	分 娩 間 隔	分	離 乳 ~ 受 胎 平 均 日 数	日	12以内	30.8	12.3	12.9	30.8	15.8	12.3	26.6	17.6
			分 娩 間 隔	日	150以内	168.4	148.6	148.6	168.4	154.5	149.9	161.1	160.9
			年 間 回 転	回	2.43以上	2.46	2.17	2.46	2.17	2.36	2.43	2.27	2.27
			年 間 換 算 離 乳 子 豚 頭 数	頭	24以上	25.8	20.6	25.6	20.6	22.4	25.8	21.3	24.1
飼 料	種 雌 豚 1 頭 当 り 年 間 換 算 給 与 量	kg	1,000	1,174	1,019	1,174	1,019	1,118	1,145	1,137	1,158		
績	勞 働	種 雌 豚 1 日 1 頭 当 り 勞 働 時 間	分	4.5	8.1	4.7	4.7	5.4	8.1	6.9	6.8	6.7	
		肥 育 豚 1 日 1 頭 当 り 勞 働 時 間	分	0.5	0.7	0.4	0.4	0.5	0.5	0.5	0.7	0.6	
		出 荷 豚 1 頭 当 り 勞 働 時 間	時		5.1	2.1	2.1	4.1	5.1	3.1	4.2	3.4	

養豚経営 2

区 分		指標値	最大値	最小値	経営 体 番 号							
					1	2	3	4	5	6		
技術 管理 成績	肥育部門	肉 豚 飼 養 規 模 頭		1,558.6	405.3	1,558.6	1,064.4	790.5	966.3	622.8	405.3	
		種 雌 豚 1 頭 当 り 肉 豚 出 荷 頭 数 頭	22.8以上	23.6	14.7	23.6	14.7	17.1	23.1	20.6	22.4	
		増 体	肥 育 開 始 時 体 重 kg	6以上	7.0	5.0	6.0	6.0	6.0	6.0	5.0	7.0
			出 荷 体 重 kg	115	116.6	107.7	116.6	112.1	107.7	116.6	115.1	111.1
			増 体 体 量 kg	109	110.6	101.7	110.6	106.1	101.7	110.6	110.1	104.1
			肥 育 期 間 日	161	170.5	142.7	170.5	155.7	151.9	154.0	168.8	142.7
			1 日 当 り 増 体 量 g	670以上	729	648	648	682	670	719	652	729
		事 故 期 間 平 均 事 故 率 %	5以下	17.1	1.5	4.9	6.3	17.1	7.6	7.3	1.5	
		密 度 肥 育 豚 1 頭 当 り 飼 育 面 積 m ²		1.192	0.571	0.571	1.192	0.798	0.715	0.952	0.679	
		出 荷	枝 肉 重 量 kg	75	77.5	71.9	77.5	75.0	71.9	76.2	76.0	73.5
枝 肉 1kg 当 り 販 売 単 価 円			544	480	515	527	480	544	533	503		
総 出 荷 枝 肉 1kg 当 格 落 ち 金 額 上 物 率 %	14以下		26.68	7.73	9.39	26.68	18.13	7.73	15.95	18.98		
飼 料 飼 料 要 求 率 -		2.78	3.02	2.50	2.50	3.02	2.87	2.77	2.81	3.02		
経 理 管理 成績	原 価	離 乳 時 子 豚 1 頭 当 り 生 産 原 価 円		9,791	5,837	5,837	9,791	8,263	7,271	9,395	8,455	
		" 総 原 価 円		11,169	5,713	5,713	11,169	8,499	8,188	9,742	8,231	
		生 産 原 価 出 荷 1 頭 当 り 円		38,992	24,064	24,064	38,992	34,319	30,152	36,075	34,237	
		出 荷 枝 肉 1kg 当 り 円		495	396	445	495	477	396	475	466	
		総 原 価 出 荷 1 頭 当 り 円		48,619	25,911	25,911	48,619	39,703	38,418	41,704	38,421	
	出 荷 枝 肉 1kg 当 り 円		618	479	479	618	552	504	549	523		
	自 家 労 賃 出 荷 1 頭 当 り 円		44,279	24,737	24,737	44,279	33,600	33,843	36,234	33,335		
	控 除 後 総 原 価 出 荷 枝 肉 1kg 当 り 円		563	444	457	563	467	444	477	454		
	所 得	種 雌 豚 1 頭 当 り 所 得 円		178,559	15,671	136,423	116,648	15,671	178,559	89,300	81,310	
		肉 豚 出 荷 1 頭 当 り 所 得 円		7,962	916	5,789	7,962	916	7,722	4,325	3,627	
肉 豚 出 荷 枝 肉 1kg 当 り 所 得 円			107	13	107	101	13	103	57	49		
期 間 1 日 当 り 所 得 円			63,539	4,422	63,539	48,864	4,422	49,801	16,637	9,846		
所 得 率 %	10以上	19.0	2.7	19.0	15.2	2.7	18.6	10.7	9.8			
安 全 性	支 払 利 息 対 売 上 高 比 率 %	2以下	1.0	0.0	0.3	1.0	0.0	0.0	0.9	0.0		
	減 価 償 却 費 対 売 上 高 比 率 %	10以下	8.0	3.0	5.8	8.0	5.2	5.6	6.6	3.0		
	肉 豚 出 荷 1 頭 当 り 支 払 利 息 円		703	0	102	703	8	0	360	6		
	" 減 価 償 却 費 円		5,537	1,113	1,761	5,537	1,809	2,307	2,668	1,113		
	自 己 資 本 比 率 (期 末 時) %	50以上	93.5	▲ 12.0	▲ 12.0	18.3	75.5	93.5	21.8	89.1		
	流 動 比 率 (期 末 時) %	200以上	1,140	485	485	1,133	499	1,140	487	785		
種 雌 豚 1 頭 当 り 固 定 負 債 額 千 円		621	0	409	621	42	0	255	6			
種 雌 豚 1 頭 当 り 負 債 額 千 円		646	35	445	646	68	46	299	35			

平成 30 年度 畜産コンサルタント指導員

1 指導員の構成

常 勤	非 常 勤	合 計
5 名	13 名	18 名

2 指導員名簿

(1) 常 勤

担 当 部 門	氏 名	所 属	資 格
総 括	中 林 大	公益社団法人新潟県畜産協会	獣医師 農学博士 農場 HACCP 主任審査員
	佐 藤 栄 治	公益社団法人新潟県畜産協会	総括畜産コンサルタント 畜産環境アドバイザー
	谷 川 昌 行	公益社団法人新潟県畜産協会	総括畜産コンサルタント 畜産環境アドバイザー 日商簿記 3 級
酪 肉 用 農 牛	佐 藤 紫 織	公益社団法人新潟県畜産協会	日商簿記 3 級 (公社) 全国和牛登録協会地方審査委員
酪 農	真 保 春 紀	公益社団法人新潟県畜産協会	日商簿記 2 級

(2) 非常勤

担 当 部 門	氏 名	所 属
経 営	/	新潟県農林水産部経営普及課
飼 養 管 理 (全 般)	/	新潟県農林水産部経営普及課

担当部門	氏名	所属
飼養管理 (酪農)	吉田智佳子	新潟大学農学部附属フィールド科学教育研究センター
	佐藤昭仁	新潟県農業共済組合連合会事業部家畜課
	相田謙一	新潟県農業共済組合連合会事業部家畜課
	川上政之	JA 東日本くみあい飼料株式会社新潟営業所営業課
		新潟県農業総合研究所畜産研究センター酪農肉牛科
飼養管理 (肉用牛)		新潟県妙法育成牧場
	裾分久仁子	新潟県農業共済組合連合会事業部家畜課
	田村雄飛	新潟県農業共済組合連合会事業部家畜課
	奥木邦昭	JA 東日本くみあい飼料株式会社新潟営業所営業課
飼養管理 (養豚)		新潟県農業総合研究所畜産研究センター酪農肉牛科
	斉藤健太	JA 東日本くみあい飼料株式会社新潟営業所営業課
飼料作物		新潟県農業総合研究所畜産研究センター生産・環境科
会計・経理	土田 渉	株式会社日本政策金融公庫新潟支店農林水産事業農業食品課
	田村祐悟	新潟県農業協同組合中央会農業対策部
	安藤康太	新潟県信用農業協同組合連合会融資部
	入澤俊宏	新潟県信用農業協同組合連合会農業部
	井上達矢	新潟県信用農業協同組合連合会リスク統括部

新潟県畜産経営改善指導事業

事業主体

新潟県農林水産部畜産課

TEL 025-285-5511（内線 2966） FAX 025-280-5010

URL <http://www.pref.niigata.lg.jp/chikusan/1196698566592.html>

事業受託者

公益社団法人新潟県畜産協会

TEL 025-234-6782 FAX 025-234-7045

URL <http://niigata-chikusan.jp/>